

PD（膵頭十二指腸切除）、DP（膵体尾部切除）における縫合不全発生要因の検討

研究の概要：

PDおよびDPにおいて術後縫合不全は予後や入院期間の延長に大きな影響をおよぼします。現在様々な手術法、術前術後管理により改善が試みられていますが、多様な方法が提唱されているにもかかわらず、明らかに有効な方法は見いだされていません。現状では各施設により手術法や術前術後管理は大きく異なっています。

今回、当院でPDおよびDPを施行した患者さんの術後経過を評価し、手術法や術前術後管理につき有用な情報がないか、検討することを目的とします。

研究対象：

2006年8月から2025年3月までに、相澤病院にてPDおよびDPを施行した患者を対象とします。

研究の意義：

当院で施行しているPDおよびDPにおける縫合不全のリスクを減少させることができます。

研究の目的：

当院で施行している手術法や術前術後管理が適切かどうか、適切でない場合には改善点を明らかにし、改善します。

研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報（患者背景、臨床経過、手術所見、病理所見、術後経過）を収集し、統計学的な解析を行う。情報収集の作業に当たっては医師がこれを施行する。

個人情報に関する配慮：

主に診療録を主とした既存資料を研究に用います。場合により病理標本の評価を行います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者の識別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者様等からのご希望があれば、該当者の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究代表者（本研究全体の責任者）：

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 外科センター 高 賢樹

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763